

プレスリリース

2025年8月5日

福島浜通りフロンティアPRコンソーシアム

## 【浜通りの夏企画】町を歩き、問い合わせを立て、記録する 「自分と向き合う夏の旅」のすすめ

～note第2弾公開、今月の起業家は NPO法人インビジブル 山本暁甫氏(富岡町)～

今春発足した、福島浜通りの起業家18社で構成される「福島浜通りフロンティアPRコンソーシアム」は、地域に根ざした挑戦を社会に広く発信することを目的に、note連載『福島浜通りフロンティア・マガジン』の第2弾を公開しました。

▼noteページ：[https://note.com/frontier\\_pr/n/n208d2ed37f55](https://note.com/frontier_pr/n/n208d2ed37f55)

今回のテーマは「問い合わせを立てよ、町を歩こう。」

自ら問い合わせを立てる地域インターンプログラムを展開するOWBの只野福太郎と、アートを軸に浜通りの地で創造を続けるNPO法人インビジブルの山本暁甫が、観念的な「地方創生」や「関係人口」を超えて、自ら歩き・見て・考える、そんな夏の旅を浜通りから提案しています。

また、今月の「浜通り起業家インタビュー」では、富岡町に拠点を置き、文化と対話の場を生み出し続ける起業家 山本氏の原体験と哲学に焦点をあてました。



### 1 | note連載『浜通りフロンティア・マガジン』第2弾 「浜通りの夏ー問い合わせを立てよ、町を歩こう。」

▼公開ページ：[https://note.com/frontier\\_pr/n/n208d2ed37f55](https://note.com/frontier_pr/n/n208d2ed37f55)

この夏、福島浜通りを歩くことで見えてくる風景・人・問い合わせを手がかりに、「自分自身と向き合う時間」を提案しています。夏の浜通りを、自らの五感と足で再発見する一歩を促す内容です。

## 【今回の寄稿者】

・只野福太郎(OWB株式会社／南相馬市小高区)

地域を自らの足で歩き、現場で問い合わせを立てる大学生向けの「小高区リサーチインターン」を紹介。自由研究の原体験を起点に、「いい問い合わせ」が行動を生むと説き、実践型の地域探究プログラムの価値を語る。

・山本暁甫(NPO法人インビジブル／富岡町)

「歩く速度で、考える旅を」と題し、震災後の浜通りを歩くことで、自分自身の思考や感性が揺さぶられる体験を勧める。美術館やアートプロジェクトの紹介も交えつつ、観光ではない“思索の旅”的すすめを紹介。



1997年さいたま市出身。

学生時代の多拠点生活をきっかけに、2020年福島県南相馬市に新卒で移住。

旧原発被災地に立する「小高パイオニアヴィレッジ」のコミュニティマネージャーとして、地域を超えたつながりを生み出す。

一社シェアエコ協会東北支部副支部長も務め、シェア文化の推進活動にも従事。

地域では「遊び」を起点に揺らぎを起こし、満月の夜に海岸で相撲をやる #満月相撲 の普及に心血を注ぐ。

只野福太郎 (ただのふくたろう)

OMB株式会社

小高パイオニアヴィレッジ

コミュニティマネージャー



1984年東京都生まれ。

立命館アジア太平洋大学卒業。

在学中よりNPO法人BEPPU PROJECTの活動に携わり、公共空間や商業施設などでアートプロジェクトの企画運営を担当。

2015年にNPO法人インビジブルを設立。

2021年に福島県富岡町に移り住んで以降、東日本大震災と原発事故による複合災害からの復興を進める浜通り内での活動を軸に事業に取組む。

山本暁甫 (やまもとあきお)

NPO法人インビジブル 理事長

## 2 | 今月の起業家：

### NPO法人インビジブル 理事長 山本暁甫 氏(富岡町)

「自立とは、依存先を増やすこと」、アートと対話で地域に挑む起業家

#### ■プロフィール

山本 暁甫(やまもと・あきお)・アートプロデューサー



1984年東京都生まれ。立命館アジア太平洋大学卒業。在学中からアートプロジェクトに携わり、2015年にNPO法人インビジブルを設立。2021年より福島県富岡町に拠点を移し、震災と原発事故の被災地である浜通り地域で、アートと対話を軸にした地域再生に取り組んでいる。

#### ■起業のきっかけと地域への想い「アートとの出会い、そして浜通りへ」

大学時代、初めてアートプロジェクトに関わったときに、見慣れた風景ががらりと変わって見えたんです。それまで気づかなかつたことに気づけたり、自分自身の感覚が揺さぶられたりして。「ああ、アートって、こんなふうに人の価値観を大きく変える力があるんだ」と思ったのが、今の活動の原点です。

福島・浜通りに関わるようになったのは、原発事故後の復興プロジェクトに関わったのがきっかけでした。地縁や血縁はまったくなかったのですが、関わっていくうちに「支援者」という距離感がどうにも居心地が悪くなってきて、当事者としてこの地域と向き合いたい、と思い、2021年に富岡町に移住しました。

決してさまざまなものや情報が豊富でない土地をあえて選び、事業を立ち上げたり働いている人はどなたも癖があつていいなと思います。



▲《時の海 - 東北》美術館を応援する会で行った植樹の様子(写真提供:「時の海 - 東北」プロジェクト)

#### ■事業の内容と社会的意義

浜通りでは、まだまだ文化的な活動の「場」が少ないと感じています。でもそれは、裏を返せば挑戦の余地があるということ。現在は、アートプロジェクトの企画運営を軸に、地域の課題解決やコミュニティ支援も手がけています。

特に力を入れているのが、人が集い、考え、関係性を育てられるような“場”づくりです。こうした場が、地域外からの来訪者がこの地を訪れる理由となり、地元住民との新しい出会いを生み出す。そんな空間と時間を生み出すことが、“文化としての復興”的なたちだと思っています。



▲夜の森公園の活用を促進する「夜の森ピクニック」開催の様子

#### ■ 困難とそれを突破したエピソード

高校時代にメキシコに住んでいたとき、あとから聞いた話なんですが、ピストルで撃たれる可能性があったことを友人から知らされて、ゾッとしたことがあります。

山賊が出ると言われる山の中に取り残されたこともあります。そのときも、どうやって帰ろうか本気で悩みました。

でも、結局どの場面でも、最後は人に助けられて何とか乗り越えてきました。世の中自分だけではできないことだらけであり、人に頼り、できることなら少しでも誰かの一助になればと思っています。

#### ■ 組織もフラットに、関係性からつくる(敬語NGルール)

今、一緒に働いているスタッフの日向志帆さんは、大学時代にインターンとして来てくれたのが最初の出会いでした。卒業後、「富岡町に住みたいから働かせてほしい」と言ってくれて、その熱量に心を動かされて迎え入れることにしました。

僕たちの組織は、「敬語禁止」というルールがあります。敬語があると、無意識のうちに遠慮が生まれてしまう気がしているため、あえてフラットな関係をつくるようにしています。

おかげで、スタッフが私の企画に改善点を指摘してくれたり、違う案を出してくれたりすることも多くなったり気がしており、今のところ良い成果が出ていると思っています。

地域内外では、同じようにチャレンジしている仲間とネットワークを作る一方で、消防団や地域の野球チームなど既存の活動に加入させていただき交流の幅を広げています。地域の中でプロジェクトを企てる中で、色々な方に相談することも増えますので、色々な形で地域に関わることは必要だと考えています。

#### ■ 今後の展望

今後は、この浜通りでの活動を、もっと外に向けて発信していきたいと思っています。関係人口を増やすには、まずこの地を“知ってもらう”必要があり、そのために、外に出ていくことも大切だと考えています。

たとえば、富岡でつくった作品を国内外の芸術祭で発表したり、現地で対話を生むような展示を企画したりといった発信を通して、浜通りを“知る入り口”を増やしていきたいです。

■日々のモチベーションは「筋トレと超回復」

日々のモチベーションは、筋トレです。しっかり働けばその分いい筋トレにつながる。事業をコツコツと日々努力して成長させるように、筋トレと休息による超回復で筋肉を育てるのは同じことだと思うので、事業と筋トレの両方を大切にしています。

■好きな言葉：

熊谷晋一郎先生の「自立は、依存先を増やすこと。希望は、絶望を分かち合うこと」

「自立」とは、一人で生きることではなく、色々な人に頼ることだと知ったとき、個人だけでなく真に自立した会社や国家はいい形で色々な人に頼っていかないといけないのだ、と思ったことを思い出します。頼れる依存先を増やし、しっかり自立していきたいと思っています。

■若い人へのメッセージ：「骨を埋めなくていい」から、まず来てほしい

若い人には、もっと気軽にこの地域に来てほしいと思っています。「骨を埋める覚悟」なんて、知らないので、まずは見て、感じて、刺激を受けて、自分のなかに新しい問いを持って帰るだけでもいいと。その中で「ここでやってみたい」と思ってくれて仲間になってくれたら、それが一番うれしいです。



▲富岡小中学校にアーティストが「転校生」として滞在し、活動するPinSプロジェクトの様子

■会社概要

組織名：NPO法人インビジブル

住所：〒979-1308 福島県双葉郡大熊町下野上清水230

代表者：理事長 山本暁甫

設立:2015年7月8日  
事業内容:アートプロジェクトの企画運営  
地域における文化芸術活動拠点の整備  
文化芸術による地域課題解決のコンサルティング業務

【HP】<https://invisible.tokyo/>

【Instagram】<https://www.instagram.com/akiwo/>

【お問い合わせ先】メールアドレス：[info@invisible.tokyo](mailto:info@invisible.tokyo) Tel:050-3710-8483

## ■「福島浜通りフロンティアPRコンソーシアム」とは

福島県浜通り地域で活動する起業家18社が連携し、地域の魅力や新たな取り組みを広く発信し、自立した地域コミュニティという新しい社会モデルを全国に広げることを目的とした組織です。各社のシナジーを活かし、地域の活性化と持続可能な発展を目指し、最新の浜通り情報を毎月発信しています。

(発足時プレスリリース：  
[https://prone.jp/press\\_releases/6178](https://prone.jp/press_releases/6178) )



・参加企業:18社

- OWB株式会社 [南相馬市]

<https://owb.jp>

- 株式会社 haccoba [南相馬市]

<https://haccoba.com/>

- 株式会社ふくふく醸造 [南相馬市]

<https://www.instagram.com/pukupukubrewing/>

- wind & soil [南相馬市]

<https://wind-and-soil.jp/>

- marutt株式会社 [南相馬市]

[https://note.com/marutt\\_design](https://note.com/marutt_design) / [https://www.instagram.com/tubutubu\\_odaka/](https://www.instagram.com/tubutubu_odaka/)

- 一般社団法人 Horse Value [南相馬市]

<https://www.horsevalue.jp/>

- 株式会社MARBLiNG [飯館村]

<https://www.zuttosoko.com/>

- 株式会社 浪江商事(なみえアベンジャーズ) [浪江町]

<https://www.instagram.com/namie.avengers/>

- ジョワイストロナミエ [浪江町]

<https://www.instagram.com/joyeuxstronamie/>

- 一般社団法人NoMAラボ [浪江町]

<https://noma-lab.jp/>

- 一般社団法人SOMA（ノーマの谷）[浪江町]

<https://nomavalley.jp/>

- NPO法人 相馬救援隊 [浪江町]

<https://www.instagram.com/sart34org/>

- 一般社団法人F-ATRAs [双葉町]

<https://f-discover.com>

- NPO法人インビジブル [富岡町]

<https://invisible.tokyo/>

- Rabbit & Turtle 株式会社 [富岡町]

[https://libertypark.jp/rabbit-turtle\\_company/](https://libertypark.jp/rabbit-turtle_company/)

- 株式会社 ワンダーファーム [いわき市]

<http://www.wonder-farm.co.jp/>

- 一般社団法人Hamadoori 13 [福島県浜通り地域全般]

<https://hamadoori13.or.jp/>

- 一般社団法人 東の食の会 [東北全般]

<https://www.higashi-no-shoku-no-kai.jp/>

・本件に関するお問い合わせ先

福島浜通りフロンティアPRコンソーシアム事務局

担当:高橋 Email:[info@noma-lab.jp](mailto:info@noma-lab.jp)